

原 安 第141号
令和4年5月10日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条に基づく連絡内容について
(通知)

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成18年3月26日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

1 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名
2022年4月28日付け 立コミ本第32号〕・・・(別添1)



立コミ本第32号
2022年4月28日

佐賀県知事
山口 祥義 様

九州電力株式会社
代表取締役 池辺 和弘
社長執行役員

協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬具

報告書内容

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1. 環境保全測定報告書 | (月報) |
| 2. 発電実績 | (月報) |
| 3. 核燃料物質の消費状況 | (月報) |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況 | (月報) |
| 5. 環境放射能の測定結果
モニタリングポスト | (月報) |
| 6. 廃止措置の実施状況 | (月報) |
| 7. 一次冷却材報告書 | (四半期報) |
| 8. 環境放射能の測定結果
(1) モニタリングポイント | (四半期報) |
| (2) 環境試料 | (四半期報) |
| 9. 発電所職員等に対する教育訓練の実施状況 | (四半期報) |

以上

環境保全測定報告書

2022 年 3 月分

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海 1・2号機	玄海 3・4号機
		0.05

2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海 1・2号機					玄海 3・4号機				
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
3月2日	7.1	2.7	—	—	3月2日	7.2	2.1	—	—
3月9日	7.5	<0.5	—	—	3月9日	7.3	1.9	—	—
3月16日	7.5	0.8	—	—	3月16日	7.3	1.0	0.2	検出せず
3月23日	7.3	0.7	1.7	検出せず	3月25日	7.5	1.3	—	—
3月30日	7.4	0.7	—	—	3月30日	7.3	1.2	—	—

*1 毎週1回以上の測定

*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
3月10日	13.4	13.8	検出せず	10.4	15.1	検出せず	13.4	20.3	検出せず
*1 3月18日	14.2	14.2	検出せず	11.0	15.9	検出せず	14.3	21.2	検出せず
3月30日	15.0	15.0	検出せず	12.6	16.2	検出せず	14.6	21.5	検出せず

*1 20日が休日のため、18日の測定結果を報告

発 電 実 績

2022年3月分

九州電力株式会社

号機		※1	※2	3号機	4号機	発電所合計	
		1号機	2号機				
最大出力	kW	—	—	1,180,000	1,180,000	2,360,000	
発電日数	日	—	—	0	31	31	
発電時間数	時間	—	—	0	744	744	
電 力 量	発電端	10 ³ kWh	—	—	0	887,452	887,452
	所内消費	10 ³ kWh	1,280	1,279	4,694	34,016	41,269
	送電端	10 ³ kWh	-1,280	-1,279	-4,694	853,436	846,183
最大電力	kW	—	—	0	1,195,000	1,195,000	
平均最大電力	kW	—	—	0	1,194,226	1,194,226	
平均電力	kW	—	—	0	1,192,812	1,192,812	
負荷率	%	—	—	0.0	99.8	99.8	
利用率	%	—	—	0.0	101.5	50.5	

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

2022年 3月分 九州電力株式会社
(玄海原子力発電所1号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10 ⁹ kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)			
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,075	324	326	0	0	
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,466	384	487	0	0	
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75,808	1,944	595	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151,349	2,653	1,408	0	0	

(注) 2015年4月27日運転終了
(注) () 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所2号炉)

2022年 3 月分

初期濃縮度 (%)	炉内入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取引量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10 ⁹ kJ)	核燃料物質消費量 (kg)			
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)			ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,769	822	680	0	0	
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,880	754	729	0	0	
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38,010	1,392	159	0	0	
															(189)					
															(177)					
															(96)					
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177,659	2,969	1,568	0	0	

(注) 2019年4月9日運転終了
(注) () 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所3号炉)

2022年

3月分

初期濃縮度 (%)	炉内 セウ入量			月末在庫量 (炉内セウ入用)			月末業務量				炉外取出量				月末在庫量 (払出用)			熱消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)		
2.00	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	0	0	29,209	233	205	0	0
3.50	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	0	7,828	59	91	0	0	
4.10	0	0	---	(171)	2,126	---	(173)	1,372	672	29,015	0	0	0	(544)	234,660	2,670	2,636	0	0
(MOX) 4.10*	0	0	0	0	0	0	(20)	12	621	38,243	0	0	0	(16)	6,569	10	535	0	0
合計	0	0	0	(171)	2,126	0	(193)	1,384	1,293	16,332	0	0	0	(643)	278,265	2,972	3,467	0	0

(注) () 内は燃料集合体数を示す。
* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下

核燃料物質の消費状況

2022年

3月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所4号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 せう入量		月末在庫量 (炉内せう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)		
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)			ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)
2.00	0	0	(1)	453	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	28,765	195	220	0	0
3.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,186	286	304	0	0
4.10	0	0	(207)	91,906	84,343	(193)	1,509	765	28,953	0	0	0	0	0	303,292	3,208	3,461	9,108	111
合計	0	0	(208)	92,359	84,343	(193)	1,509	765	14,557	0	0	0	0	0	360,244	3,689	3,984	9,108	111

(注) () 内は燃料集合体数を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2022年 3月 分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
ND	ND	ND	ND

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
放出実績なし	ND	ND	ND

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
312 (-149)	38,310

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2022年3月分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
ND	ND	ND	ND

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2022年 3月 分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
4.1×10 ⁹	2.2×10 ¹¹	1.6×10 ⁻⁴	2.2×10 ⁻³

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2022年3月分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
ND	ND	ND	ND

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

環境放射能測定結果

(2022 年 3 月分)

2022 年 4 月

九州電力株式会社

空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2022 年 3 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	42	24	27	16	25	24	25
2	25	24	24	17	33	24	25
3	25	24	24	18	42	25	32
4	25	25	25	19	28	24	25
5	25	24	25	20	25	24	24
6	25	24	24	21	38	24	26
7	25	24	25	22	45	24	29
8	25	24	24	23	25	24	25
9	25	24	25	24	25	24	25
10	25	24	25	25	25	24	25
11	25	24	24	26	32	24	26
12	24	24	24	27	25	24	24
13	25	24	24	28	25	24	24
14	29	24	25	29	25	24	24
15	25	24	25	30	28	24	25
				31	30	24	25

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2022 年 3 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-1(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	40	22	25	16	24	22	23
2	23	22	22	17	30	22	23
3	23	22	23	18	39	22	29
4	23	23	23	19	25	22	23
5	23	22	23	20	23	22	22
6	23	22	22	21	34	22	24
7	23	22	23	22	40	22	26
8	23	22	23	23	27	22	23
9	23	22	23	24	23	22	23
10	23	22	23	25	23	22	23
11	23	22	22	26	31	22	24
12	22	22	22	27	23	22	22
13	23	22	22	28	23	22	22
14	26	22	23	29	23	22	22
15	23	23	23	30	26	22	23
				31	27	22	23

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2022 年 3 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	41	23	27	16	25	23	24
2	24	23	23	17	32	24	24
3	24	23	23	18	40	23	30
4	24	24	24	19	27	23	24
5	24	23	24	20	24	23	23
6	23	23	23	21	36	23	25
7	24	23	24	22	43	23	28
8	24	23	23	23	29	23	24
9	24	23	24	24	24	23	24
10	24	23	24	25	24	23	24
11	24	23	23	26	32	23	25
12	24	23	23	27	24	23	24
13	24	23	23	28	24	23	23
14	27	23	24	29	24	23	24
15	24	24	24	30	27	23	24
				31	29	23	25

玄海1号機 廃止措置の実施状況
(2022年 3月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
(1)系統除染	▼着工（7月13日）									
除染準備作業	[黒塗り]									
装置設置	[黒塗り]									
除染	[黒塗り]									
片付け（装置撤去）	[黒塗り]									
(2)汚染状況の調査	[黒塗り]									
線量当量率測定	[黒塗り]									
試料採取	[黒塗り]									
輸送・分析・評価	輸送・分析 [黒塗り] 評価 [黒塗り]									
(3)汚染のない設備の解体撤去	高圧給水加熱器 [黒塗り] 低圧給水加熱器等 [黒塗り] タービン建屋内機器保温材 [黒塗り] 復水ブースタポンプ等 [黒塗り] 蒸気コンバータ等 [黒塗り] 主給水ポンプ等 [黒塗り] 給水ブースタポンプ等 [黒塗り] 復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備）等 [黒塗り]									
(4)使用済燃料搬出	搬出計画検討 [黒塗り]									
(5)新燃料搬出	輸送容器への収納方法検討・搬出準備 [黒塗り]									

2 今月の作業実績（注2）

(1) 系統除染
終了（2017.7.13～2018.12.11）

(2) 汚染状況の調査

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
輸送・分析・評価	2018.5.23～ 2022.3.18	原子炉格納容器内外の放射化によるコンクリート、金属、及び二次的に汚染した配管、機器及び建屋の放射能濃度を確認するために採取した試料の分析及び評価を行う。	○評価 ・2020.10.27～2022.3.18

(3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1～ 2026.3.31 (予定)	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	今月は作業実績なし

【解体撤去物の状況】(注3)

(単位：トン)

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	990.7	0	990.7	0
コンクリート類	0	45.7	0	45.7	0
その他	0	99.0	0	99.0	0

(4) 燃料搬出(注4)

・2022年3月7日 新燃料36体を発電所から搬出

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海1号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	240
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	112
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	112
玄海1号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	16
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量(当初)	64
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	36
		貯蔵量(今月末)	28

(5) 放射性固体廃棄物(注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m ³)	0	6.425	0	0	6.425
固体廃棄物 (本)	4	705	0	0	705
均質固化体	0	18	0	0	18
充填固化体	0	0	0	0	0
雑固体	4	687	0	0	687

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量(注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2017.4.19～2022.3.31] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.00	0.00	0.00	200.23

3 その他
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

(注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

(注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2017.4.19)以降の1号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量(m³)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約5.2 m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m³)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m³)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。

玄海2号機 廃止措置の実施状況
(2022年 3月分)

1. 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況(注1)

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)汚染状況の調査	[黒塗り]					
線量当量率測定	[黒塗り]					
試料採取	[黒塗り]					
輸送・分析・評価			輸送・分析		評価	
(2)汚染のない設備の解体撤去	▼着工(6月29日) [黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	タービン建屋内機器保温材 薬品ヤード 高圧給水加熱器等 脱気器等		
	A,B段分離加熱器等 油計量タンク 塵芥搬送装置等		復水器真空ポンプ スチームコンバータ等			
(3)使用済燃料搬出	搬出計画検討					
(4)新燃料搬出	輸送容器への収納方法検討・搬出準備					

2. 今月の作業実績(注2)

(1) 汚染状況の調査

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
輸送・分析・評価	2021.7.1~ 2026.3.31(予定)	原子炉格納容器内外の放射化によるコンクリート、金属、及び二次的に汚染した配管、機器及び建屋の放射能濃度を確認するために採取した試料の分析及び評価を行う。	○分析 ・2021.7.1~実施中 ○評価 ・2022.3.25~実施中

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29～ 2026.3.31 (予定)	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	タービン建屋内機器保温材撤去工事 ・2021.10.25～実施中

【解体撤去物の状況】(注3)

(単位：トン)

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	260.1	0	260.1	0
コンクリート類	0	4.4	0	4.4	0
その他	5.8	18.7	5.8	18.7	0

(3) 燃料搬出(注4)

・2022年3月8日 新燃料36体を発電所から搬出

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	254
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	168
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	28
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量(当初)	84
		搬出量(前月末まで)	36
		搬出量(今月分)	36
		貯蔵量(今月末)	12

(4) 放射性固体廃棄物(注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m ³)	0	0	0	0	0
固体廃棄物 (本)	16	235	0	0	235
均質固化体	4	13	0	0	13
充填固化体	0	0	0	0	0
雑固体	12	222	0	0	222

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量(注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2020.4.1～2022.3.31] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.07	0.00	0.04	8.55

3 その他
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

(注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

(注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2020.3.18)以降の2号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量(m³)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m³)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m³)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。

一 次 冷 却 材 報 告 書

2021 年度 第 4 四半期分

玄海原子力発電所 3号炉

九州電力株式会社

		原 子 炉 本 体 入 口			原 子 炉 本 体 出 口		
		温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h	温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h
1 月	最 高	291.7	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.3	15.69	60,100	291.7	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	321.7	15.41	60,100
2 月	最 高	-	-	-	-	-	-
	最 低	-	-	-	-	-	-
	平 均	-	-	-	-	-	-
3 月	最 高	-	-	-	-	-	-
	最 低	-	-	-	-	-	-
	平 均	-	-	-	-	-	-

一 次 冷 却 材 報 告 書

2021 年度 第 4 四半期分

玄海原子力発電所 4号炉

九州電力株式会社

		原 子 炉 本 体 入 口			原 子 炉 本 体 出 口		
		温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h	温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h
1 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.9	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
2 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.8	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
3 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.8	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100

環境放射能測定結果

(2021 年度第 4 四半期分)

2022 年 4 月

九州電力株式会社

第2021-4回

積算線量測定結果 (モニタリング・ポイント)

1 測定条件

(1) 測定素子 ガラス線量計 (AGCテクノグラス SC-1)

(2) 測定期間

2022年 1月 5日 ~ 2022年 4月 5日 (A)

2022年 1月 6日 ~ 2022年 4月 6日 (B)

A : 90日間 (2160時間)

B : 90日間 (2160時間)

(3) 事前アニール 実施年月日 2022年 1月 4日

実施場所 環境放射能測定室

(4) 読取条件 読取日時 2022年 4月 5日18時27分~
2022年 4月 6日18時18分

読取場所 環境放射能測定室

リ ー ダ 旭テクノグラス FGD-202

(5) 備 考
な し

2. 測定結果

ポイントNo. (場所)	積算線量 (mGy)		線量率換算値		備考
	測定値	91日間換算値	nGy/h	mGy/y	
P-1 (岸壁側)	0.11	0.11	52	0.46	B
P-2 (展示館)	0.14	0.14	63	0.55	B
P-3 (ステーション)	0.12	0.12	56	0.49	B
P-4 (ダム北)	0.12	0.12	53	0.47	B
P-5 (ダム南)	0.12	0.12	53	0.47	B
P-11 (九電今村寮)	0.13	0.13	61	0.54	B
P-12 (外津)	0.13	0.13	59	0.52	B
P-13 (中通)	0.14	0.14	63	0.55	B
P-14 (旧値賀第1コミュニ ティセンター)	0.12	0.12	54	0.48	B
P-15 (池崎)	0.13	0.13	59	0.52	B
P-16 (串崎)	0.12	0.12	56	0.49	B
P-17 (仮立)	0.12	0.12	56	0.49	B
P-31 (串浦)	0.13	0.13	59	0.52	B
P-32 (値賀川内)	0.13	0.13	59	0.52	B
P-33 (浜野浦)	0.11	0.12	53	0.46	B
P-34 (米納戸)	0.12	0.12	57	0.50	B
P-51 (名護屋)	0.11	0.11	51	0.44	B
P-52 (小加倉)	0.12	0.12	56	0.49	B
P-53 (仮屋公民館)	0.14	0.14	66	0.58	B
P-54 (有浦コミュニ ティセンター)	0.12	0.13	57	0.50	B
P-72 (石原)	0.13	0.13	58	0.51	B
P-73 (加部島B)	0.11	0.11	52	0.46	A
P-91 (加唐島B)	0.13	0.13	61	0.53	A
P-92 (馬渡島B)	0.12	0.12	57	0.50	A

第2021-4回

環境試料の放射能測定結果

1 測定条件

(1) 核種分析

- a 測定器 Ge (Int) 多重波高分析装置
ALOKA LBC-4302B
ALOKA LSC-LB5B
- b 測定期日 2022年 1月 1日 ~ 2022年 3月31日
- c 測定方法 放射能測定法シリーズ (文部科学省)
「放射性ストロンチウム分析法」 (平成15年4訂)
「放射性ヨウ素分析法」 (平成8年2訂)
「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」
(平成4年3訂)
「環境試料採取法」 (昭和58年)
「ゲルマニウム半導体検出器等を用いる機器分析のための試料の
前処理法」 (昭和57年)
「トリチウム分析法」 (平成14年2訂)
に準じた。

2. 測定結果

分類	試料名	採取年月日	単位	核種別放射能強度						備考
				⁹⁰ Sr	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁶⁰ Co	³ H	
海産生物	たい (八田浦周辺)	-	Bq / kg 生	-	-	-	-	-	-	-
	いか (")	-	"	-	-	-	-	-	-	-
	さざえ (")	-	"	-	-	-	-	-	-	-
	なまこ (")	2022.1.31	"	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-
	わかめ (")	-	"	-	-	-	-	-	-	-
	ほんだわら類 (")	-	"	-	-	-	-	-	-	-
海底土	1・2号放水口付近	2022.1.19	Bq / kg 乾	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
	1・2号取水口付近	2022.1.26	"	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
	3・4号放水口付近	2022.1.19	"	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
	3・4号取水口付近	2022.1.26	"	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
海水	1・2号放水口付近	2022.1.19	mBq / l	-	ND	ND	2.1	ND	ND	-
	1・2号取水口付近	2022.1.26	"	-	ND	ND	2.1	ND	ND	-
	3・4号放水口付近	2022.1.19	"	-	ND	ND	1.9	ND	ND	-
	3・4号取水口付近	2022.1.26	"	-	ND	ND	1.8	ND	ND	-
陸水	ダム水	2022.1.4	"	0.70	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	志礼川(値賀浄水場)	2022.1.5	"	1.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND
土壌	岸壁側	-	Bq / kg 乾	-	-	-	-	-	-	-
	正門南	-	"	-	-	-	-	-	-	-
	九電今村寮	-	"	-	-	-	-	-	-	-
	ダム底土	-	"	-	-	-	-	-	-	-
	米 (普恩寺)	-	Bq / kg 生	-	-	-	-	-	-	-
	米 (下宮)	-	"	-	-	-	-	-	-	-
植物	かんしょ (普恩寺)	-	"	-	-	-	-	-	-	-
	かんしょ (今村)	-	"	-	-	-	-	-	-	-
	松葉 (敷地内)	2022.2.7	"	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
	ほうれん草 (今村)	2022.1.24	"	0.048	ND	ND	ND	ND	ND	-
畜産物	牛乳 (浜野浦)	2022.1.18	Bq / l	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
	正門南	2021.12.28 ~ 2022.3.31	mBq / m ³	-	-	ND	ND	ND	ND	-

(注) ND --- 検出限界未満を示す。

発電所職員等に対する教育訓練の実施状況

(2021年度 第4四半期分)

I. 玄海原子力発電所九電社員

(1/3)

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考	
					実施時期	人数		
職 場 外 教 育	原子力発電訓練センター	初期訓練	原子力関係基礎理論教育（講義） 各設備機器の構造機能教育（講義） 運転操作訓練（講義及びシミュレータ訓練）	プラント管理課員 発電第二課員	2022/1~3	1	前期より継続及び 来期へ継続	
		再訓練	一 般 コ ー ス		運転操作訓練 （講義及びシミュレータ訓練）	—	—	
			上 級 コ ー ス		運転操作訓練 （講義及びシミュレータ訓練）	—	—	
			監 督 者 コ ー ス		監督者の指揮命令、判断能力の訓練 （講義及びシミュレータ訓練）	—	—	
			実技試験 コ ー ス		運転操作訓練 監督者の指揮命令、判断能力の訓練・試験 （講義及びシミュレータ訓練）	2022/1	3	
	メーカー	保修技能 研修	一・二次系、制御、電気設備に関する知識・保修技術の 習得	設備管理課員 保修第二課員	—	—		
		品質管理 研修	非破壊検査に関する知識・検査技術の習得		—	—		
	日本原子力 研究開発機構	原子力 基礎研修	原子炉研修一般課程、基礎課程、放射線防護基礎コース 等のコースによる原子力に関する知識・技術の習得	技術系要員	—	—		
	所	保安規定 教育	原子炉施設保安規定の理解と遵守事項の周知	全 所 員 （所長は除く）	2021/12	2	前期より継続 第3四半期末計上分	
		放射線 防護教育	放射線防護に関する知識の習得、遵守事項の周知	放射線業務従事者	2022/1, 2	395	前期より継続	
防災教育		防災組織等に関する知識の習得、防災意識の高揚	全 所 員 （所長は除く）	—	—			
安全協定 教育		安全協定の内容に関する周知 社会の動向、安全協定等	全 所 員	—	—			
消防訓練 （防火・ 防災対応）		火災発生時、災害等発生時に自衛消防組織による迅速な 消火活動及び避難等が十分機能することの確認	全 所 員 （当直は除く）	2022/1~3	975	前期より継続		

区分	場所	項目	内容	対象者	実績		備考		
					実施時期	人数			
職場外教育	発電所	避難、救助訓練	傷病者発生時の救急活動及び原子力災害時の避難活動が的確かつ迅速に処置できることの確認	全所員 (当直は除く)	2022/1, 2	398	前期より継続		
		原子力防災訓練	非常事態発生時に発電所として対処すべき必要事項の処置並びに防災体制、組織が総合的に機能することの確認		2022/1, 2	398	前期より継続		
		火災防護、内部溢水、火山影響等、その他自然災害対応教育	火災、内部溢水、火山影響等及びその他自然災害(地震、津波及び竜巻等)発生時の措置に関する教育	全所員 (所長は除く)	—	—			
		有毒ガス発生時の対応教育	有毒ガス発生時の措置に関する教育	全所員 (所長は除く)	2022/3	1			
		通報連絡訓練	異常発生時等に社内外の関係先への確かつ迅速に通報連絡できることの確認	関係者	2022/2	16			
		危険物保安教育	危険物の取扱い及び防火管理に関する意識の高揚		2022/2, 3	197			
				アクシデントマネジメント教育	重大事故等及び大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する教育	全所員 (所長は除く)	2022/1, 3	264	
				要員養成教育	原子力訓練センターにおける訓練	設備管理課員 保修第二課員 発電第二課員	—	—	
					安全作業及び品質管理教育	関係者	2022/1~3	535	前期より継続
				導入教育	新入社員教育 〔発電所の概要及び従事者として必要な安全協定等の机上教育並びに実務教育〕	新入社員全員	2022/1~3	25	前期より継続
		転入社員教育 〔発電所の従事者として必要な保安規定、安全協定並びに品質保証等の机上教育〕	転入社員全員		—	—			
		放射線業務従事者指定時等の放射線管理教育	放射線業務従事者に指定する者		—	—			
職場内教育		要員養成教育	技術系各課の業務遂行に必要な実務教育	技術系各課配属者	2022/1~3	配属者全員	前期より継続		
			緊急処置訓練 (模擬操作訓練及び処置の検討)	プラント管理課 発電第二課 当直員全員	プラント管理課 (1回/2ヵ月) 発電第二課 (1回/月)	プラント管理課 第二課 当直員			

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
職 場 外 教 育	発	成立性確認訓練	重大事故等対応に係る成立性を確認するための訓練	運転員、運転対応要員、 保守対応要員、 緊急時対策本部要員 (指揮者等)	2022/1,3	137	
		重大事故等発生時の対応に係る総合的な訓練	重大事故等発生時のプラント状況の把握、的確な対応操作等の総合的な訓練	運転員、重大事故等 対策要員、緊急時対 策本部要員	—	—	
		大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練	大規模損壊発生時のプラント状況の把握、情報収集、的確な対応操作の選択及び指揮者と専属消防隊との連携を含めた総合的な訓練	任意の緊急時対策本部要員(指揮者等)、 専属自衛消防隊	2022/1	12	
	電 所	アクシデントマネジメント訓練	大規模損壊発生時に通常の指揮命令系統が機能しない場合等の事態を想定した教育訓練	所長、原子炉主任技術者、 緊急時対策本部要員(指揮者等)、 発電第二課長、 保守第二課長 他	—	—	
		力量維持訓練	重大事故等及び大規模損壊発生時に、適切に対応できるように力量を維持するための訓練	保守対応要員、緊急時 対策本部要員(指揮者等を除く)	2022/1~3	282	
		特定核燃料物質防護対策教育	核物質防護設備の運用及び異常時の措置に関する知識の習得、核物質防護に対する意識の高揚	全 所 員	—	—	
		特定核燃料物質防護対策訓練	発電所防護上の緊急時に社内外への迅速な通報連絡及び対応等の所要の措置を講ずることができることの確認	関 係 者	—	—	

II. 協力会社玄海事業所従業員

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
協 力 会 社 へ の 教 育	発 電 所	安全衛生協議会	安全衛生管理の推進を図るため、災害防止等の安全確保意識の啓蒙と相互間の連絡、調整	(玄海原子力発電所の) 管理職 安全衛生協議会加盟 会社の責任者	2022/1~3	55~57	
		避難・救助訓練	救急処置の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社玄海事業所の放射線管理責任者 及び作業責任者	—	—	
		消防訓練(防火・防災対応)	消火活動、防災活動の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社 玄海事業所 の従業員	2022/3	72	